REC News Letter

Ryukoku Extension Center ニューズレター

No. 105 発行日：2015年12月22日

ご報告 社会連携・社会貢献活動報告会 2015 を開催いたしました。



12 月 19 日（土）に「龍谷大学社会連携・社会貢献活動報告会 2015」を開催しました。当日は学内外から約 140 名の参加があり、本学が「龍谷ソーラーパーク」を設置し、地域連携協定を締結している和歌山県印南町からも 13 名の方がお越しになりました。

報告会は、株式会社 CAP 代表取締役社長 樫野孝人氏による記念講演から始まり、その後 2 会場で行われた分科会では合計 6 つの事例紹介がありました。ポスターセッション・交流会においては、協賛品として印南町より名物「までごはん」、特産ブランドミニトマト「優糖星」をご提供いただき、龍大生が地域と共に作り上げた純米吟醸酒「北船路」、石巻市雄勝町の乾物などと共に、龍谷大学と縁のある地域や教育研究から産まれた逸品がふるまわれ、会場は大いに盛り上がりました。

ご報告 滋賀県食品産業協議会による農学部の施設見学と意見交換・交流会を開催しました！



12 月 2 日（水）、滋賀県食品産業協議会に加盟する会員企業等の皆様を迎えて、本学農学部の施設見学と食品栄養学科教員、REC との意見交換・交流会を開催しました。

滋賀県食品産業協議会は、滋賀県内の食品製造団体や食品関連企業の 25 会員で構成されており、各企業それぞれに滋賀県産の食材や資源を活用した商品開発に取り組まれるなど、多様な活動を展開されています。今回の意見交換・交流会は、それぞれの取り組みを紹介し合うことによって、新たな連携が模索できればとの考えから企画されました。

施設見学の冒頭には、滋賀県食品産業協議会 会長の八木 幸子 様（（株）比叡ゆば本舗ゆば八 代表取締役）からご挨拶があり、農学部食品栄養学科 土居 幸雄 教授（食品栄養学科主任）より歓迎の挨拶をしていただきました。その後、農学部の関連施設のある瀬田キャンパス 9 号館の施設見学を行いました。参加された会員の皆様は、先生方の説明を聞き、最新の設備にご関心いただいたご様子でした。

施設見学の後は、会員企業が製造している様々な商品（うどん、お茶、ゆば、パン、菓子、飲料など）を囲んでの意見交換・交流会を行いました。参加された会員の皆様からは商品紹介と共に自社の課題や本学農学部との連携希望案件が紹介されるなど、活発な意見交換が行われました。

この交流をきっかけに、「滋賀県」を軸とした新商品開発などの展開ができるよう、滋賀県食品産業協議会と本学農学部との連携を今後も進めていく予定です。

ご報告 「食用菊の加工品の試食および新たな加工品の検討会」を開催しました！

12 月 15 日（火）、本学農学部が大津市と取り組んでいる「大津の特色を生かした地産地消推進モデルの構築プロジェクト（環びわ湖大学・地域コンソーシアム「大学地域連携課題解決支援事業 2015」採択事業）の一環で、滋賀県の伝統野菜である食用菊「坂本菊」の加工や調理方法を検討するために、全国各地で食される食品菊の加工品である酢漬やしょうゆ漬、そう菜、ジャム、キャンディなどを試食しました。

試食会には本プロジェクトのメンバーである佐藤茂教授（農学部資源生物学科）や大津市役所職員だけでなく、農学部食品栄養学科の教員、農学部の学生などが集まり様々な加工品を試食しました。



しゃきしゃきとした歯ごたえとほのかな香り、甘さとほろ苦さを持つ食用菊、加工方法によって菊そのものの風味や歯ごたえが味わえるもの、味わえないもの、それぞれあります。参加された方々からは「ジャムがおいしかった」「茹でただけの坂本菊の歯ごたえが一番良かった」など、多様なコメントをいただきました。

本プロジェクトでは、「坂本菊」の新たな調理法や加工品を今後も検討していきます。

ご報告　2015 年度後期 REC 特別講演会「真田幸村と大坂の陣－名将伝説の虚と実－」を開催しました！

12 月 12 日(土)に大阪城天守閣館長の北川央氏をお招きし、2015 年度後期特別講演会「真田幸村と大坂の陣－名将伝説の虚と実－」を開催しました。真田幸村は今最も人気のある戦国武将で、来年の NHK 大河ドラマ「真田丸」の主人公でもあります。今回の講演では、大坂の陣における真田幸村の活躍ぶりを虚・実を明らかにしながら、紹介いただきました。

この講演会には、200 名を超える応募があり、会場となった龍谷大学深草キャンパス 22 号館 101 教室は多数の参加者の熱気に包まれました。



参加者アンケートには、「大河ドラマの真田丸が始まるタイミングで講演を聴くことができて、ドラマを見る視点が変わりそう。虚と実に注目してドラマを観たい」、「北川先生の講演は、資料を明確に提示していただき、かみ砕いて説明いただいたので大変理解しやすかった」、「歴史に少しだけ興味があり参加してみたけど、今回の講演を聴いてより深く学びたいと思った」といった御意見が多く見られ、満足度の高い講演会となりました。

ご報告　第6回 REC BIZ-NET 研究会「『環境DNA』を用いた生態系調査技術と新しい水環境管理法としての可能性」、第7回 REC BIZ-NET 研究会＆りそな中小企業振興財団 龍谷大学技術懇親会「植物育成をめぐる生物的環境の制御」を開催しました！

11 月 25 日(水)、第6回 REC BIZ-NET 研究会「『環境DNA』を用いた生態系調査技術と新しい水環境管理法としての可能性」を REC ホールにて開催しました。当日は公的機関や分析会社などから多くの方にお集まりいただき、盛況のうちに終えることができました。

まずは理工学部環境ソリューション工学科　近藤倫生教授から環境 DNA 技術の概要として「生態系モニタリングと環境 DNA 技術」と題しお話いただきました。その後、神戸大学の特命助教である源利文氏より「環境 DNA で生物を『見つける』技術：希少生物発見への応用」、理工学部環境ソリューション工学科　山中裕樹講師より「環境 DNA で生物を『量を把握』する技術：最新の研究事例より」、千葉県立中央博物館　主席研究員/動物学研究科長である宮正樹氏より「環境 DNA を利用した『生物多様性モニタリング』への展望」と題してお話いただきました。



講演終了後には、講演内容に関するポスターを展示しながら、ポスター＆サンプル展示・交流会を行われ、活発な意見交換がなされました。

続いて、2015 年 12 月 10 日(木)、第7回 REC BIZ-NET 研究会「植物育成をめぐる生物的環境の制御」を瀬田キャンパス9号館にて、りそな中小企業振興財団との共催で開催しました。当日は食品関連、農業関連の企業を中心に多くの方にお集まりいただき、盛況のうちに終えることができました。



講演会では、農学部資源生物科学科　上野 宜久助手より「イネの風邪を抑えられるか!?」、同学科　樋口博也教授より「合成性フェロモン剤を利用したカメムシの管理」、同学科　岩堀英晶教授より、「有害線虫防除における非農薬的手法」についてお話いただきました。

講演終了後に行われた農学部の研究施設見学会では、ヒト代謝実験室や植物培養室、オープンキッチンなどを見学し、参加された方々は最新の施設・設備に大変関心を寄せていた様子が伺えました。講演会、研究施設見学の後には、参加者と講演者を交えての交流会を行い、名刺交換や講演内容に関する質問が行われ、互いに交流を深める機会となりました。

REC では、本研究会にご参加いただきました皆さまとの出会いを大切にして、今後も活動を行ってまいります。

お知らせ　1 月の REC の活動

1 月　9 日(土)　龍谷ジュニアキャンパス「ラグビー教室」〈龍谷大学南大日グラウンド〉
1 月 13 日(水)　第 27 回龍谷大学新春技術講演会～情報をつむぐ～〈大津プリンスホテル〉
1 月 19 日(水)　魅力ある中小企業経営者と龍谷大学生との交流会〈瀬田キャンパス〉

龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

REC News Letter
No.105
REC News Letter は毎月発行。
次回は 1 月 26 日頃発行します。
※バックナンバーは龍谷大学 HP→教職員向けサイト
→REC 京都サイトをご覧ください。

編集：REC 事務部
http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

●REC 滋賀　REC ホール　(内線 7279)
●REC 京都　紫光館 5 階　(内線 6505)
●REC 東大阪　クリエイション・コア東大阪
産学連携オフィス 2212 号(06-6748-8228)